

受賞者の 喜びの声

●●金章●●

善行金章を受賞して

群馬県高崎市 戸塚 信子



この度、思いもかけない善行金章をいただき感謝無量でございます。昭和五十八年より婦人会に所属し、会の信条である「地域のすべての人々の幸を願って陰の力となり常により良い奉仕

子どもたちに 教えられて!

福岡県大宰府市 桑野 英則



この度は、特別善行金章を賜り身に余る光栄と感謝申し上げます。少年補導員、少年指導委員、

支部だより

東京都新宿支部

第二十一回善行会杯・少年サッカー大会

開会② 支部長 前田哲也

令和四年秋の善行会杯少年サッカー大会は新宿区サッカー連盟と協力して第二十一回の開催になりました。(第一回は平成十四年)九月から始まった予選リーグ戦は順調に進み、十月からは決

勝トーナメント戦が始まります。台風の影響で延期の日もありましたが、天候もよく進んでいきます。昨年から整備された人工芝のグラウンドを使用するように、広々と感ぜられてサッカー連盟の配慮された、ありがたい善行会杯大会になっています。



小学一年生大会が十三チームと小学二年生大会が二十一チーム、共にフットサル六人制のゲームです。またグラウンド内にも両親や親族も入れるようになり明るい声援が聞こえ、この雰囲気は自然な姿だと思えました。

新会員名簿(敬称略)

- (北見地区支部) 石沢一 堀越幸信、松本孝一、宮澤代美子、森島達夫(千葉県支部) 高橋弘吉(台東区支部) 青木公子、山越昌(渋谷支部) 芦沢幸香、朝倉恭平、岡田珠紀、鈴木研輝、川面一好、坂井かずひこ、酒林光姫、佐々木理那、立尾隆馬、内田嘉人、藤村久一、藤村浩子、森瑞稀(北区支部) 荻原由枝(板橋支部) 鎌田悦子(葛飾支部) 栗本享子、佐藤菊宏、佐野政子、澤目和子(西東京支部) 池澤隆史、木村光宏、野島貞夫、山田忠良
- 山田基樹、河田諭(小田原支部) 斎藤真由美(愛知県支部) 梅村勝重、檜林玉江、水野ひろみ(愛知県名古屋支部) 伊藤智子、奈須加代子(福岡県筑豊支部) 中村博文、宮崎一雄(佐賀県唐津支部) 坂本一孝、野寄英子(大分県大分支部) 岩田美佐子、江藤英、佐知真由美、清水進正、羽田野信子、豊後たんぽぽの会、秋重芳子、安井カオル、湯田国男(大分県竹田支部) 神田定義、志賀和博、秦栄一

ふる里自慢

京都府支部

生きた時代絵巻

時代祭

時代祭は葵祭(五月)、祇園祭(七月)と並ぶ「京都三大祭」の一つで、平安神社の大祭です。平安神社の創建と平安遷都千百年を奉祝する行事として、一八九五年(明治二十八年)に始まりまし

た。桓武天皇が七九四年(延暦十三年)に長岡京から平安京に都を移された日を「京都の誕生日」として十月二十二日に行われていきます。

時代祭のハイライトで



ある時代行列は、東京遷都以前の京都の歴史と文化をひとめで理解できるようにと提案されたのが始まりです。現在は八つの時代を二十列、笛・太鼓を奏でる山国隊を先頭に、牛や馬を含む総勢約二千名規模になっています。時代祭の長さは約二キロにもなるそうです。京都御所・建礼門前から平安神社までを約二時間半かけて巡行します。

綿密な時代考証を重ねられた衣装・祭具・調度は一万二千点にも及ぶと言われています。

各平安講社から選ばれた人たちが、各時代で活躍した人物に扮し参列されます。江戸時代では和宮や吉野太夫、安土桃山時代では織田信長や羽柴



秀吉、室町時代では馬上の足利将軍、吉野時代では楠木正成や静御前、鎌倉時代では流鏝馬列、藤原時代では平安時代夫人列に京都花街の芸子さんが巴御前、常盤御前・紫式部・清少納言・小野小町などに扮し行列を盛り上げていきます。

時代祭と同じ十月二十二日の夜には、奇祭「鞍馬の火祭り」が由岐神社一帯で行われます。世の平安を願って、鞍馬の住民が松明の火の粉を撒きながら鞍馬神社へと向かう光景は圧巻です。

入会のおさそい

一般社団法人日本善行会では、善行の表彰並びに善行精神の普及と実践を通じ明るく住みよい社会環境づくりに努めております。活動をご支援いただくために、広く会員をおさそい下さい。

- ①普通会員(正会員)
 - 個人 年額 五千円
 - 法人 年額 一万円
- ②特別会員(正会員)
 - 個人 年額 一万円
 - 法人 年額 三万円
- ③賛助会員
 - 個人 年額 千円以上

※明るいニュース年間購読料五百円含む